

◆夢を育み 明日が待たれる 魅力ある学校づくり◆

北教だより

茨城県県北教育事務所

令和5年8月8日(火)

第5号

電話 0294-34-0774

FAX 0294-32-0006

E-mail hokukyo@pref.ibaraki.lg.jp

各学校においては、9月以降の授業に向けて、主体的で対話的な深い学びの実現に向けた授業改善における校内研修等を計画・実践していることと存じます。さて、本号では**国語科の授業で求められるポイント**を、先日行われた教育課程研究協議会の資料や今年度の全国学力・学習状況調査の課題からまとめましたので、参考にしていただければと思います。

求められる授業づくり【国語編】



アウトプット重視!

〈令和5年度小・中学校教育課程研究協議会 配付資料より〉

- 【単元で取り上げる指導事項】、【育成したい資質・能力】から考える単元・授業づくり
 - ※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』(国立教育政策研究所)の活用
- 具体的なB規準の姿と「評価場面」・「フィードバックの場面」・「学習改善の場面」の適切な設定
 - ※常に「自分の授業がどうだったか」を振り返ることで、授業の改善のポイントに気付くようになる。
- 試行錯誤する場面の確保による主体的な学びの機会の保障
- 教師と子供との評価規準の共有
 - ※「工夫するポイント」「ゴールの姿」などの提示や評価規準に沿った視点を生かした振り返り

全国学力・学習状況調査からの課題(国語)



基礎・基本の定着

- 文脈の中で正しく漢字を書く力
- 接続詞の役割を理解し、正しく使う力

日常生活でも意識付けを!

論理的思考力・記述力の向上

- 連続型テキストと非連続型テキストを関連付けた学習(情報の把握、選択、整理して自分の考えを形成することに課題)
- 適切な接続詞を用いて、論理的な文章を書くことを意識した学習
- 条件・文字数・制限時間・自分自身での推敲の場の設定(条件に沿って正確に書くことに課題)
- 引用の仕方の確認及び習慣付け(他教科や総合的な学習の時間などでも意識付けが必要)

- 1 目的や意図が明確になっているか。
- 2 根拠が明確になっているか。
- 3 筋道が通った文章になっているか。
- 4 自ら読み直して推敲しているか。

- 各種調査・テスト等の問題の活用
- これまでの研究の成果の活用
 - ・授業名人動画
 - ・授業力ブラッシュアップ研修動画
 - ・学びのイノベーション推進プロジェクト授業動画
 - ・ICTを活用した実践事例

令和5年度小・中学校等教育課程研究協議会が開催されました

7月26日(水)、27日(木)の両日で、小・中学校等教育課程研究協議会が開催されました。

レポートでは、見通しや振り返りの工夫、効果的なICTの活用、児童生徒のアウトプットを重視した活動等、授業改善及び授業の実践等について、多くの工夫が見られました。また当日は、どの部会においても、互いの実践について積極的に質問し合ったり、課題についての具体的な方策を出し合ったりと、9月からの授業改善に向けて活発に話し合う様子が見られました。

お忙しい中でのレポートの作成や協議会への参加など、ありがとうございました。



(小学校 総則部会 グループ協議の様子)